

はぐくもう
人へのやさしさ
思いやり

武庫しののめ

武庫地区人権啓発推進委員会
尼崎市南武庫之荘 11 丁目 6 番 15 号
尼崎市立地域総合センター南武庫之荘
電話・FAX 6438-5875

平成29年12月4日〜10日

「人権文化の息づくまち」を目指し、 第69回人権週間に伴う様々な活動を行いました。

12月4日から10日までの人権週間に念頭に、毎年、全国各地で啓発活動が展開されています。武庫地区でも人権啓発推進委員会のメンバーを中心に、「人権文化の息づくまち」を目指した様々な啓発活動を次のとおり行いました。



11月27日〜12月10日の期間には、地域の方々を知っていたらこうと阪急武庫之荘駅周辺や西武庫公園、武庫支所など計7ヶ

所です。人権啓発パネル展示および横断幕のぼりの掲示をしました。また人権週間期間の12月8日には、人権問題講演会を行いました。

（映画『かば』エグゼクティブプロデューサー）丸山敏夫さん・古川正博さん（大阪・鶴見橋中学校元教員）

さらに12月9日（土）には、昨年に続いて人権週間特別企画として西岡つよしさん主宰の演劇グループ・淡海プロデュースによるオリジナル人情喜劇『ハッスル！夫婦どろぼう』の上演と西岡さん自身のふれあいトーク&そんぐ『にんげんバンザイ！』を行い、好評のうちに幕を閉じました（参加81名）（事務局）

◆街頭啓発活動
・日程 12月1日（金）
・場所 阪急武庫之荘駅周辺
・内容 人権啓発チラシの配布
・参加 51名
街頭活動に先立ち、11月22日に人権啓発チラシの袋詰め作業を行いました。作業終了後、上映した映画『桃香の自由帳』鑑賞では、見た目やうわさに惑わ

◆武庫地区人権問題講演会
・日程 12月8日（金）
・場所 武庫地区会館
・講師 川本貴弘さん

講演会では、大阪・西成の街を舞台に、実在した熱血先生を主人公にした映画を現在制作している川本貴弘さんや主人公の同僚だった元教師の方々に講師を迎え、パイロット版映画の上映後、制作の狙いや舞台の背景をお話しいただくことで、部落問題や民族問題といった差別について、あらためて考える機会をいただきました。



AI技術と豊かさ

「今の小学生の65%は、今存在しない職業に就く」
興味深い記事を読みました。

私自身3人の小学生の子どもを持つ親として、子どもの将来をどのようにして導いてあげられるか考えさせられました。

冒頭の文章の背景には、これからAI（人工知能）技術が発達していくほど、段々仕事が簡略化されていきます。また責任を問われにくい仕事などは、AI技術を持ったコンピューター

やロボットに代わっていくのではないかと思われず。

歴史を遡ると、産業革命前から機械化が進み、徐々に労働力は人から機械へと移行してきました。技術の進歩は、生活を豊かにし経済は成長する反面、これ

からAI技術の発展により、働く業種等が減ることが考えられます。これからの社会で、どの様にAI技術と向き合い、子どもたちに何を教え学ばなければ、私自身親として学ばなければいけません。

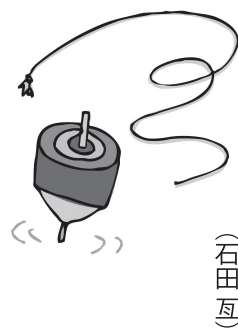
ばいけないのかを考えさせられました。

また、子どもたちの生活を豊かにするものは、これらの技術の進歩ばかりでは満たされるものは少ないと感じます。

私自身、小学校PTAに参加させていただき約1年を迎えます。地方から関西に移り住み頼る人が少ないなか、PTAを通して様々な活動や地域住民の方の支援がこれほど心強く感じたことはありませんでした。地域住民の方たちによる昔遊び等を学校の協力を得て、授業の一環として行っただけで、子どもたちはとても楽しく授業を受けて

このような授業をきっかけに親や学校だけでは教えることが難しい地域交流や世代を超えた繋がりが、より良い子どもたちの豊かな生活を送る一つになると思います。

現代社会において少子高齢化や核家族化の進行、また夫婦共働きでの仕事と育児の両立等の生活を送るなか、子どもたちと共に学びたいと思います。



（石田互）

ぎゅつと抱きしめ……

視点

先日、旧知の友人が雑誌のコラムを読んだということで、このような話を始めた。

「新聞記者でも若いうちは、サツ回りとって警察署にはりついて記事にすることがあるそうなんやけど、大阪や神戸の繁華街で万引きをして、警察に補導された子どもを、引き取りに来た親を見ると、2通りあるらしいねん。」

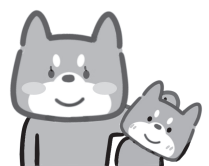
一人の親は、自分の子どもを殴って、「親に恥かかすな」と大声でどなる。それを見た警官は、「ああ、あの子はまた万引きするな」と思うらしい。

もう一人の親は、取調室から出ると、自分の子をぎゅつと強く抱きしめて、無言で帰る。警官は「ああこの子はもう大丈夫だ。万引きをこれからはしないだろう」と思うらしい。一人の我が子に対する、全く違う2通りの親の態度だけど、考えさせられるわ」と。

たとえ、自分が産み育てた子であったとしても、人格・人権はある。正しいことをわからせるために暴力をふるう、大声で怒鳴る……必要なことだろうか？

その話の後、しばらく二人の間に無言の時間が流れた。

（雨宮将晃）



「地域づくりフェア」武庫をむすぶ」開催!

住み慣れた地域で暮らし続けられるように武庫地区で新しい支えあいの仕組みをつくりたいと考え、地域で活動する様々な団体が参画し、地域のネットワークづくりや活動の場づくりについて「武庫地区協議体」(平成28年11月発足)で情報共有や話し合いを行っています。

- 武庫地区協議体参画団体
- 尼崎市「武庫東」地域包括支援センター
- 尼崎市「武庫西」地域包括支援センター

- 尼崎市立地域総合センター南武庫之荘
- 尼崎医療生活協同組合 組合員活動部
- 生活協同組合コープこうべ第1地区活動本部
- NPO法人ナルク尼崎
- 尼崎市社会福祉協議会武庫支部

このたび、地域で活動されている方や地域活動に興味のある方に、様々な団体が行っている地域活動を知っていただくことで、新たな活動につながり、活動自体が広がることを目指しています。

的に平成30年1月27日(土)に地域総合センター南武庫之荘で「地域づくりフェア」武庫をむすぶ」(武庫地区協議体主催)が開催されました。講師でお招きした桑山信子氏(さわやか福祉財団インストラクター)による「助け合いゲーム」では、ゲームを通して、気軽にゆるやかな近隣の助け合いのきっかけづくりを進めるために、地域で「助けてほしい」と言えない人たちが、気軽に「助けてほしい」と言えるようになるための手法を体験していただきました。

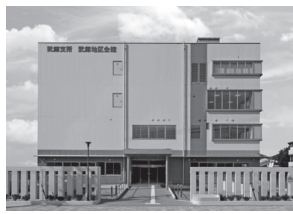


当日には、多くの方が参加され、参画団体の紹介ブースやふれあい喫茶等が催され、盛況に終わりました。尼崎市社会福祉協議会武庫支部 地域福祉活動専門員 今井久雄

新しくなった武庫地区会館はもうすぐ一年になります

武庫地区会館の設備が充実し活用幅が広がり活性化しています

地域の皆さんの福祉と生活文化の向上を図る活動拠点と地域防災の拠点として、昨年4月1日に武庫の里1丁目の尼宝線沿いに武庫支所と武庫地区会館が新築オープンし1周年を迎えようとしています。



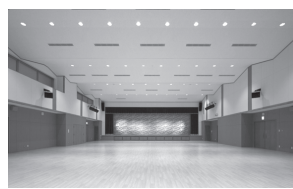
新しい武庫地区会館の概要は、450人収容の大ホールと60人収容の大会議室をはじめ

室が4室、大広間と和室が2室、料理教室と音楽室が各1室及び小学生から大人まで誰でも利用できる学習室の合計10室で構成されています。

また、ホールと大会議室・音楽室にはプロジェクトと音響設備を設置し、併せてホールと音楽室にはピアノも設置しており幅広い活動ができる施設となっております。

登録同好会の増加と活性化

新たに音楽室が設置されたことと設備が新しく充実されたことにより、登録同好会は前年度に比べ9団体・86名が新たに登録されました。



特に音楽室を利用したフラダンスやキッズダンスと合唱やバンド活動が増加したことに伴い、従来ややもすれば高齢者の活動場のイメージがありましたが利用年齢層が大幅に若返って、老・壮・青・少とそれぞれの年代の方々が生活文化の向上に役立てる場所になっています。

指定管理者の自主事業による子育て支援と利用の拡大

自主事業として不定期に実施している「親子体験リトミック」や「ベビーマッサージ」は子育て中のママ達の人気が高く、特に「親子体験リトミック」はキャンセル待ちが出るほど好評のためほぼ毎月開催しています。その他にも

支所・地区会館は小学生から大人まで集う学習の場

その季節や時期にあった料理づくりや工作など幅広い年齢層の方が参加できる自主事業を開催し、地域の皆様方の生活文化の向上に資する活動を展開しております。

また、去年まで開催していたシニア向け英会話教室は活動が定着したことにより、登録同好会に発展・移行し会員の皆様は毎月2回英会話を楽しんでおります。

15席ある学習室は毎日の学習や受験勉強を目的に利用される方々で盛況で、入りきれない時は1階ロビーの机も活用されています。この場所を地域コミュニティの創造拠点として活用いただきませう館員一同努めて参ります。武庫地区会館館長

武庫の歴史に包まれて

本紙76号から、武庫地区にある学校・幼稚園・保育所の沿革や地域とのふれあい、人権教育などの取り組みをシリーズとして掲載しています。今回は、武庫東保育所です。



尼崎市立 武庫東保育所

私たちは四季折々の自然物の成長を間近で見られる環境にあります。一年を通して趣向を凝らしながら子どもたちに伝統行事を知らせる中で、「敬老の日」には時友団地の四八会の方々と一緒に伝承遊びや触れ合い遊びを行い、交流を深めています。武庫荘総合高校の「触れ合い育児体験」では、学生が夏と秋に保育所を訪れ、保育所児と触れ合いを楽しんでいます。また武庫荘総合高校で開催する児童文化祭に招待してもらうことを、毎年子どもたちは楽しみにしています。

尼崎市公立保育所の理念「笑顔の輝く子どもをめざして」を柱に、子どもの思いを大切に一人ひとりが安定し自信を持って過ごし、笑顔を絶やさず人との関わりを大切にする保育に取り組んでいます。

今後も地域の方々に見守られ触れ合いを大切にしながら、保護者と共に子どもたちの健やかな成長を育んでいきたいと思っております。武庫東保育所 所長 金 洋子

武庫しののめ

編集委員

- 千木良 昌彦
- 中本 昌次
- 石田 互
- 敷島 智枝
- 廣川 弘美
- 奥田 淳子
- 三澤 雅俊
- 小谷 豪郎
- 雨宮 将晃
- 阪上 敏郎